

災害時の洗濯に備える 災害備蓄ランドリー

コンテナ型
完全オフグリッド対応



日本は災害が多く、大規模災害時には避難所のQOL（生活の質）が著しく低下します。特に、新型コロナウイルスのような感染症対策が加わることで、避難所の衛生環境はさらに悪化し、QOL低下が懸念されます。これまで避難所の衣類衛生は軽視され、支援物資の衣類増加はゴミやスペース圧迫の問題を引き起こしていました。この現状を改善するため、我々は災害発生時に避難者が迅速に洗濯できるよう、公共施設や企業にあらかじめ洗濯機などのランドリー機器を備蓄する「災害備蓄ランドリー」の開発を目指しています。これは、支援物資やインフラと並び、避難者の生活衛生環境の向上・維持に貢献することを目的としています。

災害時の洗濯はどうなる？

災害時においても、衣類の洗濯は衛生面と精神面の両方から非常に重要です。断水や停電といったライフラインの停止により洗濯が困難になることがあります。汚れた衣類を放置すると悪臭や感染症のリスクが高まり、被災者の精神的な負担も大きくなります。



災害時の洗濯に備える

災害備蓄ランドリー

- ・ライフライン停止の想定レベルに合わせたパッケージ構成が可能
 - LPガス ●発電機 ●太陽光発電 ●蓄電池
 - 水浄化システム ●水循環システム
- ・コンテナ型の為、低コスト/短納期で施工が可能。
- ・トレーラータイプでの設置も可能なため、高い可搬性。



平常時からの活用と災害時のQOL向上

平常時はコインランドリーや福利厚生用に機器を活用することで日常的にメンテナンスが行え、災害時には無償で開放することで被災者の生活の質 (QOL) の向上に寄与することができます。

災害備蓄 ランドリーで 変わること

Quality Of Life

避難所での QOL向上に貢献



衛生環境の向上

清潔な衣類を保てることで、皮膚病や感染症のリスクが減り、全体的な衛生状態が改善されます。これは、特に感染症が懸念される状況下で非常に重要です。



精神的負担の軽減

汚れた服を着続けるストレスや不快感がなくなり、被災者の精神的な安定につながります。洗濯という日常行為が、心のケアにも寄与します。



避難所運営の効率化

支援物資として衣類を大量に供給する負担が減り、衣類ゴミの削減にもつながります。被災者自身が衣類を管理できるため、避難所のスペースも有効活用できます。



プライバシーの配慮

個別に洗濯できる環境は、被災者のプライバシーを守り、尊厳を維持する上で役立ちます。



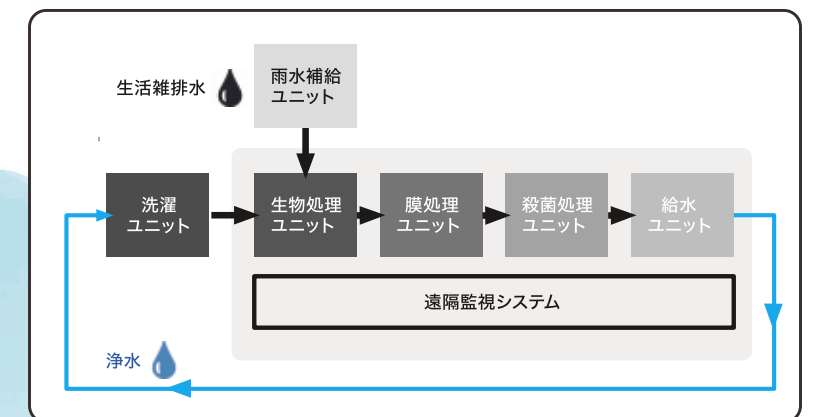
災害時の洗濯に備える 災害備蓄ランドリー

「完全オフグリッド型」パッケージ
災害時には、水と電気を自給可能

太陽光発電&大容量蓄電池



水循環システム (INNFR社開発)



処理能力: 1,000L/日 (標準モード)
※緊急時や短期使用を想定した高負荷モード
では最大5,000L/日まで処理可能ですが、
フィルター類の交換頻度が増える可能性が
あります。

フェーズフリー運用

コイン仕様の機器を採用することで、平常時は
一般のコインランドリーとして使用可能です。
「いざ、災害時に動かない・・・」を防げます

高い移動性・迅速な展開

トレーラーのため牽引可能。災害時には
電力・水インフラが途絶えた被災地の
どこへでも迅速に移動・展開が可能です。



10kg業務用洗濯機 x 2台
※1回およそ30~40分。
水使用量: 123L/回

このパッケージなら・・・1日最大40家族様分の洗濯が可能です

$$\left(\begin{array}{l} \text{ピーク時の} \\ \text{1日の水処理能力} \end{array} 5,000\text{L} \div \begin{array}{l} \text{洗濯1回あたりの} \\ \text{水使用量} \end{array} 123\text{L} = \begin{array}{l} \text{1日あたりの} \\ \text{洗濯可能回数} \end{array} 40\text{回} \right)$$

1家族が3日に1回洗濯すると仮定する場合、

120世帯規模の避難所での運用が可能です



株式会社 フーマイスター エレクトロニクス

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-3-3 千代田トレードセンタービル



Wash Peaks

株式会社 Wash Peaks

〒151-0061 東京都渋谷区初台1-51-1 初台センタービル2F